

# 中信大会の連絡事項

## 【共通事項】

- 1 赤帯・青帯を使用する。各校・各選手は準備すること。専門部では準備しない。  
また、JKF及び高体連のラベルがあること(中信大会では2分ルールの適用外)
- 2 道着(上衣)の胸紐の使用は不可とする。また、腰紐については必須。
- 3 空手道着の個人名の刺繍は姓(苗字)又はフルネームが望ましい。また、色は黒色が望ましい。なお、英語の筆記体は好ましくない。また、高体連のラベルがあること(中信大会では2分ルールの適用外)

## 【組手競技】

〔安全具〕女子5点・男子6点を必ず着用し、不備がある場合は1分ルールを適用する

- 1 女子：①ニューメンホー **V・VI・VII**のいずれか。(安全上の観点からVIまたはVIIの使用が望ましい)
  - ②胴プロテクター
  - ③拳サポーター
  - ④シンガード
  - ⑤インステップガード
- 2 男子：女子5点に以下を加える
  - ⑥ファウルカップ

※ ①～③は全空連指定品 ④～⑤は全国高体連空手道専門部検定品
- 3 主なルール変更
  - ・「先取」方式を採用
  - ・ウォーニング及びペナルティにおいて、カテゴリーが一つに統一される。累積5回、または反則注意を受けた後の更なる違反で反則となる。
  - ・「後しばらく(15秒未満)」に既に「先取」を取得している競技者が格闘を避ける行為による反則注意を受けた場合、「先取」は取り消される。尚、一度失った「先取」はその後得ることはない。

## 【形競技】

〔個人形競技〕ベスト8まではフラッグ方式。それ以降は得点方式

- 1 ベスト8まではトーナメント制を採用しフラッグ方式で勝者を決定する
- 2 それ以降は、トーナメントの山の左右それぞれの4名によるランキングマッチとする
- 3 ランキングマッチの結果によってメダルマッチを実施し、順位を決定する
- 4 必要形数については、プログラムの別表を参照のこと。**必要形数は最大で4つ必要**

回戦 (ラウンド)	形	方式
1・2回戦(32名まで)	第一・第二指定形から選び、同じ形でも違う形でもよい	フラッグ方式
1・2回戦(32名以上)	第一指定形	フラッグ方式
3回戦 (32名以上)	第二指定形	フラッグ方式
ランキングマッチ	得意形A	得点制
メダルマッチ	得意形B	得点制

- 5 得意形については、競技規定に掲載されている得意形リストより選ぶ

〔団体形競技〕

- 1 出場校が8校未満の場合は、即メダルマッチとする
- 2 その場合の必要形数は1つとし、演武する形は得意形リストより選ぶ
- 3 分解は行わない

## 【大会会場準備について】

集合時間を8時00分とし、出場者全員で会場準備にあたる。